

I 研究経過

平成 21 年度は、「実務者のための手引き」作成にあたり、全体構成、調査及び評価の概略フローをまとめるとともに、各サイトでの活断層等に関する調査実績等の収集及び分析を行った。また、次年度を含めて、より具体的な活断層等の調査・評価手法の検討及び実務者のための手引き作成にあたりサブワーキンググループを立ち上げ、手引き作成のための体制作りを行った。

平成 22 年度は、活断層評価部会を 2 回、活断層評価部会拡大幹事会を 7 回開催して、研究の推進を図った。部会の経過概要を以下に示す。

【活断層評価部会】

○平成22年度 第1回 活断層評価部会

1. 日 時：平成22年12月3日（金）14:00-17:00
2. 場 所：主婦会館プラザエフ 3階会議室 「コスモス」
3. 議 題：
 - (1) 委員紹介
 - (2) 部会の趣旨説明
 - (3) 活断層調査及び評価に関する「実務者のための手引き」ドラフト版について
 - (4) 電力共通研究 震源断層評価のための活構造調査手法の高度化に関する研究
 - A. 2008年岩手宮城内陸地震（M7.2）
 - B. 2004年留萌支庁南部の地震（M6.1）

○平成22年度 第2回 活断層評価部会

1. 日 時：平成23年2月15日（火）14:00-17:00
2. 場 所：弘済会館 1階会議室 「葵」
3. 議 題：
 - (1) 活断層調査及び評価に関する「実務者のための手引き」ドラフト版について
 - (2) 電力共通研究 震源断層評価のための活構造調査手法の高度化に関する研究
 - A. 2004年留萌支庁南部の地震（M6.1）
 - B. 1943年鳥取地震（M7.3）

Ⅱ 成果の概要

本年度は、昨年度の調査結果をもとに、「実務者のための手引き」に関して具体的記載内容の検討、参考となる事例の収集を行い、手引きのドラフト版を作成した。

また、手引き作成のための基礎資料として、電力共通研究「震源断層評価のための活構造調査手法の確立に関する研究」で実施した岩手・宮城内陸地震、鳥取地震及び留萌の地震に関する調査・研究で得られた成果等について審議し、震源断層評価のための活構造調査手法の高度化を図った。